

札幌市内も積雪量が増え、冬本番となっています。昨年は大雪で交通に支障が多数出ましたので、今年は市の除雪作業が前倒しで行われ、大きな支障のない交通状況となっています。

札幌に来てから初詣は北海道神宮へ出かけており、昨年も紹介させて頂きました。今回は神宮の駐車場の北端にあるレストラン『神宮の社はくしか』という以前から気になっていましたお店に入店しましたので紹介致します。

こちらはお粥専門のレストランのようです。メニューはお粥セット松・竹・梅と3種類で¥1,288～¥1,688がメインです。薬膳粥と小皿(道産品ワカサギ甘露煮・ホタテ昆布きんちゃく・知床干し鮭ほぐし)と漬物、お茶が付いて来るセットです。

私は松セットを食べましたが身体の中が洗われたような気がしました。たぶん気がしただけだと思いますが、健康に良いのは確かですので疲れた時にお薦めします。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

節分、立春を迎えましたが、二十四節気で言う一年の第一節目となる貴重な月日です。また、建国記念日と天皇誕生日の祝日もあり、本来ならお祝いとなっても良い2月ですが、いかがお過ごしですか。といっても、まだ戦争にコロナ、生活では物価上昇など世の中は荒れており、穏やかではないですね。この2月から風向きが変わり、皆さんと共に良い方向へ進みたいです。

さて、東京の食といえばお蕎麦が有名ではないかと思いますが、中でも江戸蕎麦御三家と言われる名店のひとつに『砂場』というお蕎麦屋さんがあります。今回は、その砂場さんの中でも虎ノ門大阪屋砂場本店をご紹介します。

砂場という屋号の起源は太閤豊臣秀吉公の時代まで遡り、大阪城築城の折に資材の砂置き場に開店したことに由来します。その後徳川家康の時代に江戸に下り、大阪屋砂場が始まったとのこと。これ一つだけとっても蕎麦は日本の文化ですね。

ちなみに、お店は名店というだけあり、ずっと混んでいました。入店までも30分以上はかかったかと思えます。注文したのは迷うことなく、もり蕎麦の大盛りです。天ぷらもおいしそうでしたが、お昼だったので、それは夕方以降のご縁の楽しみに取っておきます。とにかくまた行きたいのと、たくさんの人に味わってほしいと思うお薦めのお蕎麦屋さんです。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は愛知県西尾市にある『カテキン堂』というお店を紹介いたします。このお店はどのようなお店かというと、西尾市は抹茶の生産が多いことで有名で、その抹茶を生かした大判焼などを販売しているお店です。お店は古い郵便局の建物を活用して、なかなかノスタルジックな雰囲気の外観です。看板などお店周りには、抹茶色?のポストなど緑色の物が多く置かれています。

大判焼も当然きれいな抹茶色をしており、種類分けを示す、かわいらしい焼き印が押されています。肝心の味ですが、外側の生地はやはり抹茶の味や香りがして特有の美味しさを持っています。苦味などは無いので子供でも食べられると思います。中身の味も、粒あん、こしあん、カスタード、栗入りなど色々あります。個人的には定番の粒あんが一番おいしく感じました。

店内で食べることもできるようですが、かなり狭いのでテイクアウトがおすすめです。また大判焼以外にも、抹茶ソフトやセルフで点てる抹茶もあります。ノスタルジックな雰囲気の中で、抹茶ワールドに浸ってみるのはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

コロナと共存になりつつあり、色々とお出かけしてみたくありませんね。近場ならともかく、海外旅行で良い景色を見て…とするにはお金も時間もありません。そこで近場で海外の雰囲気を楽しめるスポットを探してみました。

今回は和歌山市にある『雑賀崎』です。縦に長い和歌山市の海岸の真ん中くらいにあり、昔から漁業の盛んな港町です。車で小高い山の上の方から下ってくると湾の眺めと緑の雰囲気がキレイ。そして港から住宅地を見ると『日本のアマルフィ』と言われる程、映画でも有名なイタリアのアマルフィに似た雰囲気を持っています。以前にアマルフィの市長が訪れ、シンポジウムが行われるほど本場も認めた風景です。

所説ありますが、漁師にとって大事な船を各自見守るため、全ての家から港を監視できる様に建っているそう。なるほど!と思えますね。機能美からの美しい景色だと思いました。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

唐突ですが、福岡のラーメンと言えば豚骨ラーメンのお店が沢山あります。その中で、福岡では珍しい(?)行列を作るつけ麺のお店を今回はご紹介したいと思います。

そのお店の名前は『麺や兼虎』さんです。コンセプトは『豪快で荒々しく漢らしい一杯。』だそうです。今回は福岡市中央区の天神本店ではなく、博多駅の博多デイトス店に行ってきました。

到着はお昼前でしたが、すでにお店の中は満員。店頭から20人ほどの行列が出来ている中、私も足早に最後尾に並ぶことに。つけ麺は定番の『濃厚つけ麺』と『辛辛つけ麺』の2種類です。私、辛いのが苦手なのですが、私の前に並んでいた方々が、口を揃えるように『辛辛つけ麺』を注文していたので釣られて注文。やってきたつけ麺は見るからに辛そう…。『食べられるかな…』と思ったことはさておき、朝食を抜いて食べに来ているので、しっかりとお腹は減っています。そして実食! スープの上にこんもりと盛られている唐辛子は極力混ぜずに食べたところ、物凄く濃い! でも美味しい! 麺が半分程度になったところで、意を決し唐辛子をスープに混ぜて更に実食。辛いのが苦手な私には、口から火が出るんじゃないかと思うくらい辛く、額に流す汗も止まりません。その後、水をがぶ飲みしながらやっとのことで完食しました。

ただ、食べ終わってみると「また食べてみたい」と思うような中毒性のあるつけ麺でした。また近くに来た際には、食べようと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

コロナの感染状況は段々と緩やかになり、KJIがある工業団地の中には、2月の初めからマスクを外す活動を始めている会社もあります。

KJIではまだ心配な部分があるため、様子を見ながら判断しており、一先ず2月中頃から全社員はマスクを外しても構わないということになりました。但し、まだマスクをつけたいという社員はもちろんそのままです。さらに咳、喉が痛い、体の調子が悪い、風邪を引いている社員たちにはマスクの着用が義務付けられています。自己判断で今日は体の調子が悪いからマスクをつけるということもあります。感染状況がまた悪くなった場合は、再びマスクの着用が義務になるかもしれないことも社員に伝えてあります。

ショッピングモールでもマスク着用義務は様々で、つけなければならないところや、つけなくてもよいところがあります。ただ体温測定検査はどこのショッピングモールでもやらなくなりました。

インドネシアでは1~3月に雨が降る頻度が高くなります。雨がたくさん降ると風邪、インフルエンザなどの病気になりやすく、コロナにもかかりやすい状況なため、少し心配が残っています。KJIの社員たちの健康状況を見守りながら、マスクをまたつけるか、そのままつけなくてもいいかがこれからの議題です。

全社員は3回ワクチンを打っているのでコロナにかかっても風邪を引くレベルだと医者は言っていました。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

~これさえあれば~

中国で暮らす駐在員はどこへ行くにもパスポートが手放せません。ホテル、飛行機、電車、銀行、病院などなど。最近ではPCR検査の際も提示が必要でした。外国生活では命の次に大切なパスポートを常時携帯するリスクと不便さにはちょっと困ってしまいます。仮に中国で運転免許証をとってもホテルや電車に乗る際の写真付き身分証としては受け入れてもらえません。

じゃあ中国人は?中国の人は皆、『居民身分証』を持っていて、どこへ行くにもこれさえあればOKです。0歳から申請が可能で、このICチップ入りのカードがあれば電車の改札も本人確認の上、搭乗ゲートが開くわけです。PCR検査も「ピッ」とやれば、瞬時に本人確認されます。18桁の番号は出身地、生年月日、性別、民族も区別できる構成になっており、自分の番号はみな暗記しているのが普通なようです。

スマホ先進国の中国では最近電子アプリ式の身分証も登場し、利便性がさらに進化しています。日本でのマイナンバーカードの普及はまだ道のりが長そうですが、中国ではこれがなければ生活ができません。外国人も就業許可証(プラスチックカード)に同じ機能が加わるなどしてくれればありがたいのですけどね。身分証にいささかの羨ましさを感しながら私のカバンにはいつもパスポートが入っています。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

2023年が始まりましたが、日本は10年ぶりの寒波到来とのニュースを聞きました。ここカリフォルニアも今期は雨が多く、気温を比べると例年より低いようです。こちらでは傘を使用することが滅多にないので私も持っていません。そのため最近では外出が控え気味になっています。

そんな今の時期、アメリカで最も話題になっているがNFL(アメリカン・フットボール)です。1月29日にはAFCとNFCの決勝が行われ、2月12日にはスーパーボウルが開催されました。昨年度チャンピオンのLAラムズがプレーオフ進出を逃しましたが、フィラデルフィア・イーグルス以外は昨シーズンと同じ顔ぶれで、今年の4チームの先発クォーターバックの平均年齢は、史上最年少の25歳98日と若い司令塔の戦いになりました。

さてもう一つアメリカで人気のNBA(ナショナル・バスケットボール・アソシエーション)。日本でも話題になっていると思いますが、先日ウィザーズの

八村塁選手がLAレイカーズにトレード移籍することが発表されました。LAレイカーズはご存知の方も多いと思われそうですが、NBAのチームの中でも非常に人気があり、歴代最多タイの17回優勝している強豪チームです。現在はNBAの看板選手の『キング』、レブロン・ジェームズをはじめアンソニー・デイビス、過去MVPを獲得したことのあるラッセル・ウェストブルックのビッグ3が所属しています。今シーズンはケガ人が多く、プレーオフ進出圏外の12位と低迷しています。

ウィザーズではなかなか先発での出場がなかった八村ですが、新チームでの先発起用も予想され、ケガのデイビスも復帰してきていますので後半戦のカムバックを大いに期待できそうです。是非ともプレーオフ進出をして欲しいと思います。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

『ジョホールバル』はシンガポールと国境を接するマレーシアで唯一の都市です。この国境は、毎日300,000人以上が通過するため、世界で最も忙しい場所の1つです。ジョホールに住んでいて、シンガポールで働いたり勉強したりする人もいます。

国境は2本の橋で結ばれており、ほとんどの場合、どちらの橋も混雑しています。特に週末は国境の交通量が非常に多く、深夜でも車が列を作っており、国境を越えるだけで5~6時間はかかってしまいます。

今月初め、平日に国境を越えてお客様を訪問した際、驚いたことに大雨にもかかわらず、ジョホールへの交通量は多くありませんでした。夕方にシンガポールへ戻ったときも、国境を越えるのに片道30分ほどで非常にスムーズな旅でした。私たちは幸運だったのだと考えています。

コロナの影響で3年間ジョホールに行けませんでした。状況は3年前とあまり変わっていませんでした。一部のレストランは、パンデミック中に閉店してしまいましたが、生き残っているレストランもいくつかあります。生活は続いており、これからはより多くのシンガポール人が週末に食料品やレストランで食事をするためにジョホールに行き、やがてすべてが正常に戻ることでしょう。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

オランダ南部では2月頃にカーニバルが開催されます。カーニバルはもともとカトリックの祭典で、断食の始まりを祝うものです。これは、灰の水曜日と呼ばれる復活祭の40日前から前日までの期間(四旬節)を『生き残る』ために、灰の水曜日の前日に饗宴が行われます。オランダ南部にはカトリックの背景があるため、カーニバルは最も祝われる行事です。

カーニバルという言葉の意味は完全には定かではありません。この言葉は、2つのラテン語の『carne(肉)』と『vale(さよなら)』に由来する説があります。

今日では、カーニバルはまったく違った形で祝われており、より民族的なお祭りになりました。パブに行き、友人や家族と一緒にたくさんのビールを飲んだり、海賊、バナナ、看護師、インド人など様々なコスプレをしたりします。

すべての都市や村で大規模なパレードが開催され、人々が制作した巨大なショーカーが展示されます。多くの場合、準備には6ヶ月以上かかります。

カーニバルは公式には日曜日に始まります。ですが現在フェスティバルは金曜日に始まり、水曜日まで続きます。ほぼ1週間の饗宴の後、人々の疲れが出てくる木曜日の24:00に終了します。正式な終了としては水曜日に灰の十字架が下され、ニシンを食べることができます。

パブにとっては、1年で最高の週になります。この週で1年間の売上高の半分を達成するパブもあります。

オランダ南部生まれではない人から見たら、この行事はばかげているように見えるかもしれませんが。この時期にオランダを訪れるときは、外に出るべきです。目にするものは信じられないでしょう。

KIO(オランダ)(Ferri Visser)